

JABEE 認定に奔走

人は何のために学ぶのか？

この極めて深遠で、現実的な問題に一つの答えを示してくれる。

「学ぶ意味を見出せば、学生は自ずと励むものです」

学生の質の高さがここに有名な日本女子大だが、それでも入学時の段階で、何のために学ぶのか不明な者も少なくないという。

今取り組んでいるのが、「視覚的体験型授

ひと



日本女子大学
住居学科教授

いしかわ たかしげ さん
石川 孝重

「動機付け教育」も全開

「これで、学ぶことの意味が見出せます」
1年次のカリキュラムにある「力と形」。その中で、オリジナルで作製したキットを使い「なぜ力学を学ぶのか？」を、

「力学構造を理解しよう」として、次の力学を学ぶことになり、次の力学を学ぶこと意欲が出てくるのである。
動機付け教育だ。
32歳の時に赴任。企業も注目するこのキット

に、今年で21年目を迎えた学究生活が、凝縮されているように見える。
今年4月、住居学科はJABEEの本審査を受け「建築技術者教育コース」として正式に認定された。

この認定を受けたことにより、教育プログラムが社会的なニーズに対して高い要求水準を満たしていることが、客観的な審査機関により認められたことになる。

また、提唱する動機付け教育にも、大いに貢献することになる。
「少子化時代を迎え、大学の生き残りの策の側面を持つとはいえ、このプログラムは、国際社会に通用する技術者へのステップにもなります」

厳しい市場原理にさらされながら、女性がどう社会に参加していくか、学問の場でも模索する。「女性にとって幸福な社会は、男性にとっても幸福です」
まなみ(はなみ)も温かい。(机)

住宅新報
2004年8月31日

住居学科が建築JABEE第一期認定校に

石川孝重

この度、住居学科では、「建築技術者教育コース [建築学(総合)]」として、JABEE (日本技術者教育認定機構) より正式に認定を受けました。建築学および建築学関連分野としては、他の3大学の工学部建築学科と並び、第一期認定校になります。もちろん、住居系学科として初めてであり、1回の審査として最長期間である5年間 (2003年度より) の認定を授かりました。審査の過程で卒業生にもインタビューにご協力いただきましたが、住居学科の教育プログラムが社会的なニーズに対して高い要求水準を満たし、国際的な水準も満足していることが、客観的な審査機関により認められたことになります。

建築技術者教育コースに登録し、所定の科目の単位を取得して1,800時間以上の学習を修了した学生には、卒業時にJABEE認定を受けた教育プログラムの修了生であることが証

明されます。また、技術士補になる資格が与えられ、技術士第一次試験が免除になる予定です。建築分野のJABEE認定は始まったばかりですが、工学全体では現在102の教育プログラムが認定されています。今後就職などに際して、技術者として高い水準の基礎教育を受けてきたことの証明として、この認定が学生に還元されることを切に願っています。

(いしかわ たかしげ/JABEE対応責任者・住居学科教授)



※7月13日に大学主宰で行われた「住居学科JABEE認定を記念する会」の会場にて、左から嶋田会長、石川先生、後藤学長、正宗元会長、藤枝桜楓会理事、小谷部先生。

住居の会だより, No.55
2004 (平成16) 年11月